



病院NEWS

no. 385
2016
07/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

G7香川・高松情報通信大臣会合と関連行事の開催について

医療情報部 横井英人

G7香川・高松情報通信大臣会合が、2016年4月29日(金)・30日(土)の2日間、「かがわ国際会議場」にて開催されました。

この会合に際し、事前イベントとして「G7学生ICTサミット」や「情報通信と地域社会の未来を考えるICTフォーラム」などが開催された他、G7香川・高松情報通信大臣会合期間中には、高松市内各地で様々なイベントが催されました。

①ICT市民体感デー(高松中央商店街)

音声翻訳アプリの体験や、外国人が市内の観光地やイベント会場から現地の魅力や楽しさをスマホから生中継しました。

②先端テクノロジーの体験型展示(情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ(サンポート内))

人工知能やセンサーネットワークなどの先端技術を搭載した様々なロボットとコミュニケーションをとる体験ができました。

③ICT見本展(サンポートホール高松 1F 市民ギャラリー)

香川県内の高等専門学校や高校でのICTの取り組みや、香川県内のICTの利活用事例などが紹介されました。ここでは全国大会で優勝したロボット相撲やアメリカンフットボールロボットの実機試合などが行われました。

④総務省が「2020年に向けた社会全体のICT化」の実現に向けて取り組む、最先端のICTの紹介(サンポート高松展示場 及び デックスギャラリー)

言葉の壁をなくす翻訳タクシーや、情報の壁をなくす津波警報の配信や大規模災害時にICT環境の即時立ち上げができる技術などが展示されました。また、圧倒的な臨場感のある8Kスーパーハイビジョンシアターも公開されました。

最後に、以下のイベントをご紹介します。

⑤「K-MIX+(かがわ医療情報ネットワーク)利活用推進フェア」(高松シンボルタワー3階かがわプラザ)

香川県医師会・NPO法人 e-HCIKの共催、香川大学の後援のもと、4月28日から30日の3日間開催され、K-MIX+(かがわ医療情報ネットワーク)の利活用によるチーム医療の確立と日本版EHR/PHR(生涯型電子カルテ)の構築にむけて、というテーマのもと、医療・福祉・介護の分野から総数26の企業と団体が参加・出展しました。K-MIX+との連携を視野に入れた自社製品またはシステムに関するブース・パネル展示、ビデオ放映、ICT機器の展示及び模擬実演等が行われました。

この度のG7関連会議などにより、県内のICTに関する活性化がなされたと思います。また香川大学は香川県、医師会、薬剤師会などと連携し、医療に於けるICT活用を、今後とも積極的に推進して参ります。前述のK-MIX+などを基盤に、お薬手帳、健康手帳、介護・見守り、母子健康手帳、糖尿病手帳などを電子的に情報共有できるよう目指しています。皆様の積極的なご利用をお願いいたします。



▲ K-MIX+(かがわ医療情報ネットワーク)利活用推進フェアの受付



▲ 香川県医師会 パネル展示



▲ オリーフナースについてのプレゼンテーション



▲ 原特任教授挨拶

四国新聞社の記事転載について、ホームページでの公開には
許諾されていないため、転載記事を除きました。

四国新聞 2016年(平成28年)5月20日(金曜日)掲載(四国新聞に転載について許諾済み)

イキイキさめき健康塾—香川大学病院と最新医療—

総務課

開催内容・テーマ・講師

回	開催日	テーマ	講師	診療科等
16	平成28年7月24日(日)	みなさんに知ってほしい胃がんのこと-胃がんの外科治療について-	藤原 理朗 講師	消化器外科
17	平成28年9月11日(日)	街角救命マシン活用法	堀 仁美・安西 馨	看護部

会場:丸亀町レッツホール 高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町壱番街東館4階

時間:11:00~12:00 参加費無料、事前申込不要

問合せ先:総務課 電話:087-891-2008(平日9時~17時)

「骨髄移植」として知られている治療法は、白血病などの血液の病気を治すために、骨髄(骨の中の空間)にある造血幹細胞(血液細胞を作るおおもとの細胞)を他の人から採取して、患者さんに輸血する治療法です。その後、造血幹細胞が、ある薬を注射すると一時的に血液に流れ出ることや、へその緒の中の血液である臍帯血にもあることがわかり、現在では骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植の3つを合わせて「造血幹細胞移植」と呼んでいます(図1)。自分の造血幹細胞を使う「自家移植」もありますが、ここでは他の人の細胞を使う「同種移植」をご紹介します。提供者(ドナー)は、HLAと呼ばれる細胞の型が合った血縁者からまず探し、いなければ骨髄バンクや臍帯血バンクの非血縁者から探します。

骨髄移植はドナーの腰のあたりの骨から全身麻酔下に骨髄液を1.0L近く採取し、それを患者さんに輸血します。末梢血幹細胞移植は、ドナーから成分献血と同様に末梢血中の造血幹細胞を分離採取し、患者さんに輸注します。臍帯血は、お産の際に得られるへその緒の中に残っているわずか50mL程度の血液を冷凍保存しておき、必要な時に解凍して移植に使用します。

「前処置」と呼ばれる化学療法と放射線照射でドナー細胞の受け入れ体制を作ってから移植を行います。入れたドナーの細胞が患者さんのからだを攻撃するGVHD(移植片対宿主病)と呼ばれる合併症があり、これを防ぐために免疫抑制剤を移植後しばらく使います。そのため抵抗力が落ちて感染症にかかりやすくなります。これらの合併症に耐えられる65歳以下の患者さんが同種造血幹細胞移植の主な対象になります。

移植の対象になる疾患は、(1)化学療法(抗がん剤の治療)のみでは治癒が難しい白血病などの血液がん、や(2)自分の血液が十分造れなくなる再生不良性貧血です。そのような比較的若い患者さんがおられましたら、いつでも香川大学医学部附属病院へご紹介ください。

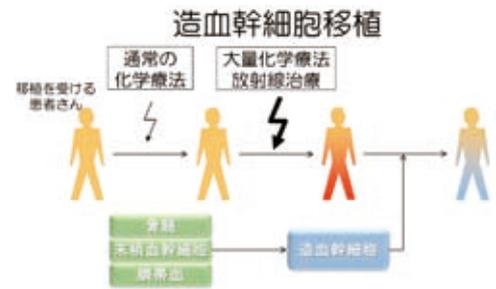


図1 造血幹細胞移植

エコノミークラス症候群-急性肺血栓塞栓症-

甚大な被害がひろがっている熊本大地震ですが、十万人以上の人々が避難所生活を余儀なくされています。長期間車内生活からエコノミークラス症候群に陥り、突然死や重体の報告が相継いでいます。

骨盤以下の静脈にできた血栓が、起き上がって歩くと突然飛んで肺に詰まり大惨事を引き起こします。飛行機に限らず長距離旅行・脱水・体質・妊娠出産・肥満・骨折・薬剤などさまざまな要因が指摘されています。もともと日本人には少ないものでしたが、最近では発生数の急速な増加がみられており、四十代から増加し六十代をピークにしてやや女性に多い傾向があります。手術後など病院内で約半数が、一般生活でも起立歩行、排便排尿時に発生します。

突然の呼吸困難、胸痛、頻呼吸が主な症状で、突然死を含めて死亡率の高い病気です。できるだけ早期に治療の開始が必要となり、早期診断治療ができれば救命率は高くなります。やっかいなのは症状が多彩で診断が付きにくいことですが、とにもかくにも早期に医療機関の受診が必要となります。それでも今回の熊本大地震のように災害時には、突然死が多発しますので、その予防も重要です。

災害時に多発する理由は、倒壊の危険性のある家屋内で余震の恐怖から車中泊せざるをえず、狭い車内で体を長時間動かさず、物資の供給不足やトイレ不足で脱水傾向になりがちで避けられない事態が続くことです。ですから、普段から屈伸運動など下半身をよく動かし、水分補給に努めることは重要かもしれません。

妊娠出産時や経口避妊薬の服用時など若年女性にもまれにみられ、完全な予防は困難ですが、骨盤以下下半身の静脈に血栓ができることが原因で、下肢の腫れには注意し、呼吸困難、胸痛、頻呼吸などが出現し、おかしいと思えば早くに医療機関の受診をお勧めします。

甚大な災害となっている熊本大地震ができるだけ早く終息することを祈りつつ、みなさまも健康にご注意ください。

香川県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会

平成28年4月8日(金)18:30より香川県社会福祉総合センターにおいて香川県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会が開催されました。この協議会は香川県における肝炎治療を適切かつ円滑に実施するため年2回開催されています。

この日は正木副病院長が議長・進行を務め、市民公開講座・肝臓病教室の開催予定、かがわ肝疾患ネットワーク(冊子)の配布について、肝炎就労支援ノートの発行についての協議、報告がありました。



患者申出療養相談窓口



平成28年4月1日から、患者申出療養制度に係る対応窓口を臨床研究支援センターに設置いたしました。

患者申出療養制度とは、未承認薬等を迅速に保険外併用療養として使用したいという困難な病気と闘う患者さんの思いに応えるため、患者さんからの申出を起点として、安全性・有効性等を確認しつつ、身近な医療機関で迅速に受けられる様にするための新たな仕組みとして創設されました。

「患者申出療養制度がどのような制度か知りたい」「どのような医療が対象になるか」等疑問や不安のある方はお気軽にご相談ください。

臨床研究支援センター

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長

医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は抽出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意がたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H28.7~9月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
7/6 水	18:30~	病院外来診療棟1階 玄関ホール	第10回七夕コンサート	医事課	(087)891-2053
7/14 木	18:00~20:30	臨床講義棟1階	第10回 認知症疾患医療センター研修会 平成28年度 認知症疾患医療センター事例検討会	医療支援係	(087)891-2452
7/17-18 日月	9:20~17:20 9:20~17:10	臨床講義棟1階 外	平成28年度 第1回緩和ケア研修会	医療支援係	(087)891-2452
7/24 日	9:25~15:35	かがわ国際会議場	日本消化器病学会四国支部 第29回教育講演会	消化器・神経内科	(087)891-2156
7/24 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「みなさんに知ってほしい胃がんのこと-胃がんの外科治療について-」	総務課	(087)891-2008
8/9 火	16:00~18:00	香川県社会福祉総合センター	第9回香川県がん診療連携協議会	医療支援係	(087)891-2452
8/11 木	9:00~14:00	スキルラボ(3F・アドバンスルーム) 放射線部・血管撮影室	IVRスクール	放射線医学講座	(087)891-2219
8/24 水	13:00~16:00	臨床講義棟2階	第70回 精神保健シンポジウム	精神神経医学講座	(087)891-2167
9/4 日	14:00~16:30 (予定)	三木町文化交流プラザ	日本肝臓学会 肝がん撲滅運動 市民公開講座	消化器・神経内科	(087)891-2156
9/11 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「街角救命マシン活用法」	総務課	(087)891-2008
9/16 金	14:00~15:30	病院2階 カンファレンスルーム	平成28年度 第2回 肝臓病教室	地域連携室	(087)891-2468

看護職員募集

中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、石井(外来)、小野(総務)、
笹川(放射線)、白神(麻酔)、田川(管理)、
田中(看護)、中妻(看護)、芳地(薬剤)、
村上(病棟)、横井(情報)、横山(経営)、
吉野(医事)

〔委員長 横見瀬病院長〕